

11月6日・7日 令和7年度「森林ボランティア・NPO連携推進会議」の開催

【木曽森林ふれあい推進センター】

あんどうももふく

11月6日（木曜日）・7日（金曜日）の2日間、長野県小諸市の「安藤百福記念アウトドア アクティビティセンター」において、「森林ボランティア・NPO連携推進会議」がボランティア団体代表及び木曽森林ふれあい推進センターによる実行委員会主催により開催されました。

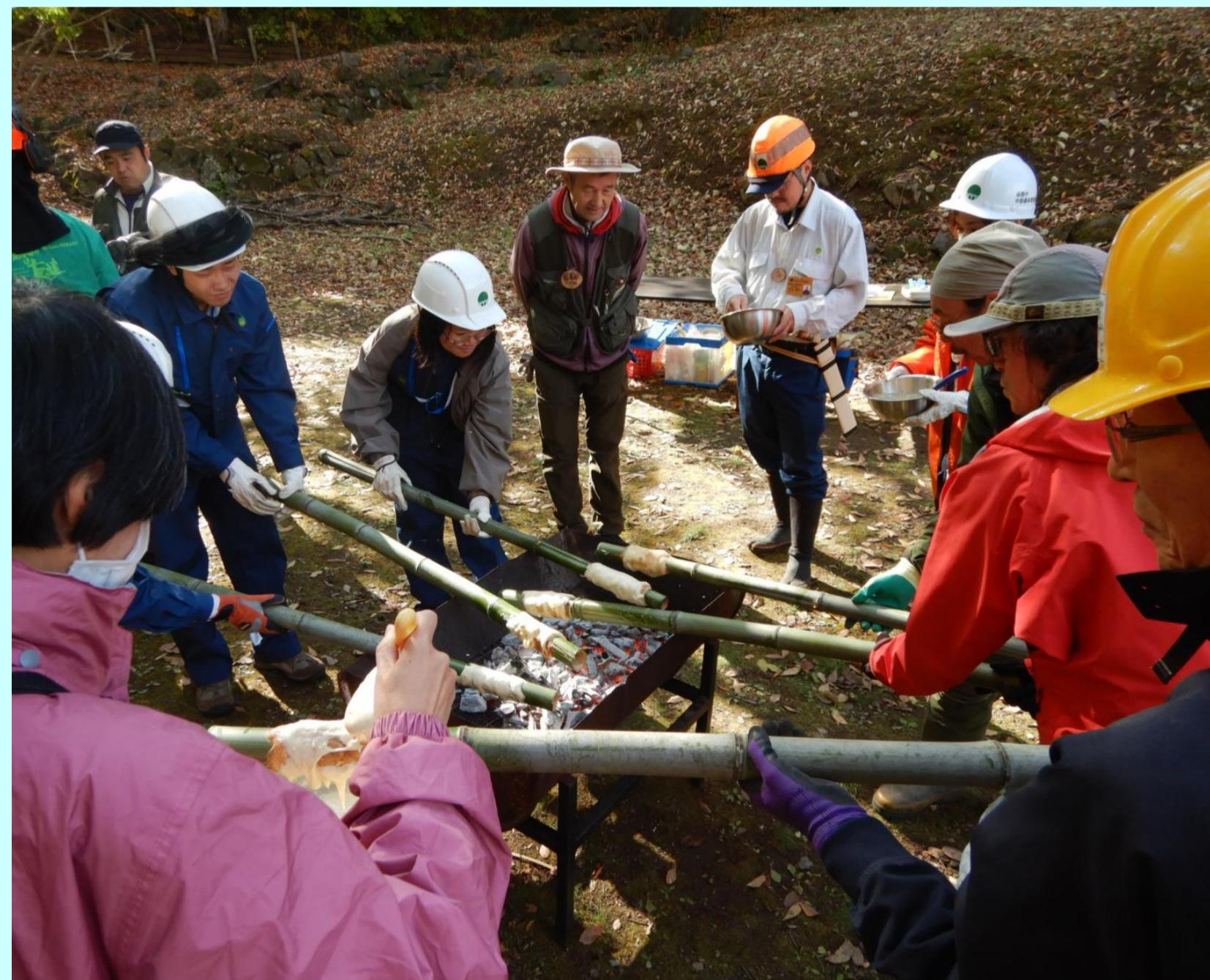
この会議は、中部森林管理局管内の森林ボランティア団体・NPO等が一堂に会し、研修、交流を通じて更なる資質の向上と連携強化を図ること等を目的に、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となつた年もありましたが、平成21年から継続して開催しています。

今年は、森林ボランティア団体等の5団体と局署職員併せて26名が参加しました。

1日目は、活動紹介や各団体が抱えている「イベントの集客・後継者の育成・ノウハウの継承」等の課題についてグループディスカッション形式で意見を交し、課題解決に向けた事例や提案等を共有しました。

2日目は、自然体験学習プログラムの一環として行われている、青竹を芯にバウムクーヘンを作る「青竹クーヘン作り」を体験しました。

森林ボランティア団体の指導者から青竹の安全な伐採方法の手順等について説明を受けてから会場敷地内で伐採作業を行い、クーヘン作りに適した長さに仕上げた青竹の表面に、生地のかけ塗りと炭火での焼き上げを交互に繰り返しバウムクーヘンを完成させました。



青竹クーヘン作りの様子



完成したバウムクーヘン

その後、「青竹クーヘン作り」の指導者から「事前に参加者の食物アレルギーの有無を確認し食材を選定する」「青竹に切り込みを入れ熱膨張による破裂を防ぐ」等の安全対策について説明を受けながら、焼き上げたバウムクーヘンを味わいました。

今回の会議は、自然学習プログラム体験や各団体が抱えている課題の共有と解決に向けた意見交換により、参加団体や局署との連携を更に深めることができた充実した2日間となりました。

当センターでは、今後も管内で活動されるボランティア団体等の連携や活動を支援してまいります。